

NL2001U

レーザスキャナ

ご利用の手引き

1.0 版

(2011 年 2 月)

はじめに

このたびはレーザスキャナ NL2001U をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、NL2001U の外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて NL2001U を使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて NL2001U を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

商標について

Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

日栄インテック株式会社 開発事業部

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第 2 ビル
電話：03-5816-7141 FAX：03-5816-7140 e-mail：info@barcode.ne.jp



安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。








⚠警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


記号の意味：

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。

⊘記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。

●記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

⚠警告	
<p>重要：システム設計者へ</p> <p>◆薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。</p>	
<p>◆次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 煙がでている場合、変なにおいや音がしている場合 ▶ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ▶ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合 	
<p>◆製品を分解したり、改造したりしないでください。</p> <p>事故や故障の原因になります。</p>	
<p>◆湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	
<p>◆製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	
<p>◆濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	
<p>NL2001U シリーズは、CDRH : Class2 / IEC 60825-1 : Class2 のレーザ製品です。</p> <p>危険ですので、以下のことは行わないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ レーザビームを直視しないでください。 ▶ レーザ照射窓をのぞき込まないでください。 ▶ 人に向けてレーザ照射しないでください。 	

⚠注意	
<p>次のようなことは、絶対に行わないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いものの下敷きにならないようにしてください。 ▶ スキャナ本体をたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。 ▶ 不安定な場所に置かないでください。 ▶ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。 	

セットアップ

(1) ドライバのインストール

NL2001U を初めて PC に接続する際、「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」ドライバのインストールが必要になります。ここでは、Windows XP SP2 の画面を用いて、インストール手順を説明します。

- a) PC に電源を投入し、Windows を起動します。
- b) スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。
※USB ハブは使用せず、スキャナを直接 PC に接続してください。USB ハブを使用した場合、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせていただきます。
- c) スキャナ本体のブザーが「ピロッ」と 1 回鳴り、インジケータ LED がオレンジ色に 1 回点灯します。
※ブザー音がまったく鳴らなかった場合は、一旦 PC の電源を切り、ケーブルの接続を確認してやり直してください。それでも状況が改善されない場合は、巻末に記載の弊社担当窓口までご連絡ください。
- d) PC のディスプレイ画面のタスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました Barcode Device」のダイアログが数秒間表示された後、自動的にドライバのインストールが始まります。

※OS が Windows Me 以前の場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合は、画面の指示に従って設定してください。



- e) ドライバのインストールが完了すると、「新しいハードウェアが見つかりました 新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」と表示されます。



(2) 読取りテストを行います。

文字入力できるアプリケーション(メモ帳など)を起動して、次のテストバーコードを読取ります。



カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

設定手順

- (1) 変更したいパラメータの記載されているページを開きます。
- (2) 『設定開始』バーコードを読取ります。ブザーが「ピロリッ」と1回鳴り、一定間隔で「ピッ、ピッ・・・」と鳴り続けます。
- (3) 変更したいパラメータの設定バーコードを読取ります。『設定開始』バーコードを読取ったときと同じブザー音で「ピロリッ」と1回鳴ります。
- (4) 『設定終了』バーコードを読取ります。『設定開始』バーコードと同じブザー音で「ピロリッ」と1回鳴ります。

複数のパラメータを変更する場合は、1～3を同様に繰り返し、最後に4を行いません。

※設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度『出荷時設定』に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。

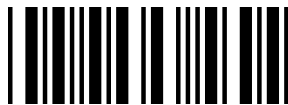
出荷時設定

NL2001U を出荷時設定（設定項目名に下線が付いている設定）に戻すには、下記の設定バーコードをインタフェースにあわせて上から順に読取ります。

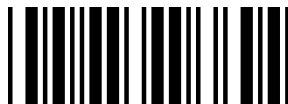
※弊社出荷時には、日本語キーボードにあわせて動作するように、下記の設定を行った製品を出荷しておりますので、前述のセットアップにしたがって接続の上ご使用いただけます。



設定開始



USB キーボードインタフェース



106(日本語)キーボード



設定終了

※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記出荷時設定を行なったときに設定される項目です。



設定開始

※以降の設定は、『設定開始』→設定バーコード→『設定終了』の順に読み取ります。

ターミネータ（COMMONSUFFIXS：終端文字）の設定

『設定開始』『ターミネータの設定開始』のバーコードに続いて、『ターミネータ設定』のバーコードいずれか1種類を読み取り、最後に『設定終了』を読み取ります。



ターミネータの設定開始

ターミネータ設定（いずれか1種類を読み取ります）



Enter



Tab



実行（右 Ctrl）

（2つのバーコードを上から順に読み取ってください）



なし



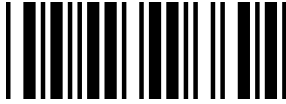
設定終了



設定開始

キーボードインターフェースの各種設定

キーボード種類（国別）設定



106（日本語）キーボード

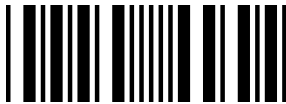


101（英語）キーボード

Caps Lock の設定

『Caps Lock ON』に設定すると、バーコードデータのアルファベットの大文字を小文字に、小文字を大文字に変換します。PCのCaps LockがONになっていて、データの大文字と小文字とが逆になってしまう場合に有効です。

『自動 Caps Lock モード』を設定すると、キーボードのCaps Lock状態にかかわらず、全て大文字で送られます。



OFF



ON



自動 Caps Lock モード



設定終了



設定開始

キャラクタ間ディレイ時間の設定

PC/ホスト機器の受信処理が遅い場合、1つ1つのキャラクタ送信間にディレイ（遅延）を発生させることで確実にデータを送信する機能です。



キャラクタ間ディレイなし



ディレイ 10 ミリ秒



ディレイ 20 ミリ秒



ディレイ 30 ミリ秒



設定終了

読取バーコードシンボル体系について

下記バーコードシンボル体系は、初期設定で読取許可に設定されています。

- JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E
- コード 39（フル ASCII を除く）
- インタリーブド 2 オブ 5（ITF）
- インダストリアル 2 オブ 5
- マトリックス 2 オブ 5
- コーダバー（NW7）
- コード 128（GS1-128 を除く）
- コード 93
- MSI/Plessey
- GS1 DataBar (RSS)

下記バーコードシンボル体系は、初期設定では読取禁止になっていますが、設定を変更することで読取可能になります。弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷して設定してください。

- コード 39 フル ASCII
- GS1-128（EAN.UCC-128）
- PDF417、マイクロ PDF417（Composite Component: 合成シンボルを含む）

※ その他の詳細設定については、弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷してご利用ください。

http://data.barcode.ne.jp/download/pdf/manual/NL2001U_Manual.pdf